



TUNER
フレックス・ドリーム ランクル調布店
 ●東京都調布市国領町1-17-1 ●TEL: 042-486-8887
 ●WEB: <https://www.flexdream.jp/>
 ランドクルーザーを中心に新車・中古車の販売はもちろん、カスタマイズパーツやコンプリートカーも手掛けているフレックス・ドリーム。専門店ならではの豊富な知識と高い技術力、クルマに対する深い愛情でさまざまなニーズに応えてくれる。カスタマイズで悩んでいるならぜひ足を運んでほしいショップだ。



WHEEL & FOOTWORK
 ボディとの一体感を高めるオリジナルのメッキホイール
 足もとを飾る16×6J+15サイズのオリジナル鉄メッキホイールは力強さと煌びやかさを兼ね備えたデザインを採用し、フロントバンパーやドアミラーなどボディのメッキパーツとの協調性が高められている。ショックアブソーバーには4WDカスタムの定番であるプロコンプをセレクトし、街乗りでの扱いやすさと乗り心地を重視したセッティングとなる。



EXTERIOR
 質実剛健な顔つきの80を丸目でレトロな60フェイスに
 ランクル60のフロントマスクを実現する「丸目換装Ver.2」は、ランクル80純正のボンネットやフェンダーを加工することで作り上げている。メッキバンパーはランクル70純正を流用して、オーバーフェンダーやサイドモールなどは取り外し、クルマ全体が60らしく仕上がっている。ルーフモールとドアモール、ドアノブなどメッキパーツを使ってアクセントとしている。

60の無骨な雰囲気を変え、80のフェイスでクラシックスタイル

「ス!? このランクルは60でしょ?」
 と思っただけならそれはショップの狙い通り。このクルマは真正正銘のランクル80で、「レトロでお洒落、そして快適性も欲しい」という声に応えるべくランクル80をベースに製作されたカスタムカー。ランクル80のフロントマスクに大胆なカスタムを施すことで実現する、「F D クラシック」というフレックス・ドリーム発祥のカスタム術なのだ。
 いったん素直にランクル60に乗ればいいのでは? と思うかもしれない。しかし、ランクルファンなら周知の事実だが、リフスプリングを採用するランクル60に対しランクル80はコイルスプリングを採用している。この違いは非常に大きく、コイルスプリングはリフスプリングに比べて乗り心地や悪路の走破性が格段に向上している。ランクル80の方が快適性に優れている。さらに、両車とも販売終了から時間が経つ現在ではメンテナンスパーツの調達面や信頼性などでもランクル80が勝る。もちろんオリジナルのランクル60も非常に魅力的だが、クラシカルなスタイルで愛嬌のあるランクル60のデザインをランクル80の乗り心地と信頼性で乗れるというのが心が惹かれる大きなポイントなのだ。

ではそのカスタム内容を紹介していく。まずカスタムには他車のフロント部分(ボンネットやバンパー、ライトなど)を付け替える顔面スワップという方法がある。ただこの方法を使うためには兄弟車である、同一型式であるなどといった基本骨格に共通性のある車種同士で行われるのが一般的となる。もちろん基本骨格が違っても大がかりな加工をすれば装着でき

「四駆のクラウン」と呼ばれるほど。ランクルが高級SUVとして歩みだした原点ともいえる存在だ。
 そんなランクル80をはじめランドクルーザーシリーズを専門に取り扱うプロショップ「フレックス・ドリーム」が手掛けたランクル80のデモカーを見よう。

「キング・オブ・SUV」として世界最高峰のオフロード性能を備え、初代モデル登場から60年以上の歴史をもつトヨタのフラッグシップSUVのランドクルーザー。車名の「LAND」は陸、「CRUISER」は巡洋艦という意味をもち、その名前にふさわしいタフさと4WD性能から世界中で高い人気を誇る。とともに、国内では「ランクル」の愛称で親しまれている。
 今回紹介するデモカーはそんなランドクルーザーシリーズの7代目モデルとなるランドクルーザー80。まずランクル80の概要からおさらいすると、ランクル80の先代型となるランクル60からボディサイズがひと回り大きくなり、パワートレインやサスペンション形状といったメカニズム面の大幅な変更が行われた。これまで堅牢な作りを一貫してきたランクルシリーズだったが、ランクル80では本格的なオフローダーとしての性能に加え、乗用車としての快適性を大幅に向上させたのだ。快適性を大幅に改善したことにより当時は



「キング・オブ・SUV」として世界最高峰のオフロード性能を備え、初代モデル登場から60年以上の歴史をもつトヨタのフラッグシップSUVのランドクルーザー。車名の「LAND」は陸、「CRUISER」は巡洋艦という意味をもち、その名前にふさわしいタフさと4WD性能から世界中で高い人気を誇る。とともに、国内では「ランクル」の愛称で親しまれている。
 今回紹介するデモカーはそんなランドクルーザーシリーズの7代目モデルとなるランドクルーザー80。まずランクル80の概要からおさらいすると、ランクル80の先代型となるランクル60からボディサイズがひと回り大きくなり、パワートレインやサスペンション形状といったメカニズム面の大幅な変更が行われた。これまで堅牢な作りを一貫してきたランクルシリーズだったが、ランクル80では本格的なオフローダーとしての性能に加え、乗用車としての快適性を大幅に向上させたのだ。快適性を大幅に改善したことにより当時は

The Roots of LAND CRUISER

ランドクルーザーの高級路線はこのランクル80からスタートした
 世界的本格オフローダーであるランドクルーザーの7代目となる通称「ランクル80」。60系の後継モデルとしてデビューし、足まわりの進化が大きなポイント。リフスプリングだった60系からコイルスプリングへと変更されたことにより走破性や耐久性、なにより乗り心地が大幅に向上した。この80系からランクルの高級路線がスタートしたとも言えるのだ。





SPECIFICATIONS

● EXTERIOR

ボディペイント: ベージュ
丸目フェイス換装 Ver.2
背面レス仕様
70純正フロントメッキバンパー
メッキドアノブ (4箇所)
メッキルーフモール&メッキドアモール
純正バックゲートエンブレム

● INTERIOR

flexdreamオリジナル シートカバー
flexdreamオリジナル フロアマット
flexdreamオリジナル カーゴマット
クラシックウッドハンドル

● FOOTWORK

プロコンプショックアブソーバー (4本)

● WHEEL

オリジナル 鉄メッキホイール 16×6J +15
BFグッドリッチATタイヤ 235/85/16サイズ

● MUFFLER

オリジナル ステンレス製ダウンテールマフラー
主要装備抜粋



MUFFLER

スタイルに合わせたダウンテールマフラー

フレックス・ドリームオリジナルのステンレス製ダウンテールマフラー。レトロポップなFDクラシックのスタイルを崩さない作りとなっていて、マフラー出口がリアバンパーの内側に収まるすっきりしたデザインとしているのが特徴。交換はリアピースのみとなる。



INTERIOR & SEAT

ボディカラーと共通イメージの
カラーコーディネイト

オリジナルシートカバーはボディカラーに合わせて茶色とベージュでコーディネートされる。ウッドステアリングも相まって外観同様にクラシカルな雰囲気が内装にも漂う。カーゴマットは3列目シートレス仕様に合わせてサイズとなっていて、フロア&カーゴマットともに「flexdream」のネームプレートが装着される。



The Advice for Beginners

ビギナーへのアドバイス



オシャレと同じく
カスタムも足もとから

フレックス・ドリームのイメージカラーであるオレンジラインがリムに入ったオリジナルデイトナホイールだ。サイズは16×6.5J+15とフレックス・ドリームオリジナルのインセットにより、オーバーフェンダーを外したナローボディのランクル80にジャストサイズとなっている。「オシャレは足もとから」という言葉と同じくクルマのカスタムも足もとからキメていきたい。

ないこともない。ただ、そういった大手術は時間もコストもかかってしまい現実的な選択肢ではない。そこでこのランクル80では、ランクル80純正のボンネットやフェンダーに小加工を施し、丸目ライトなどを装着することでランクル60フェイスを忠実に再現している。さらにはランクル80の特徴であるオーバークラウドやサイドモールを取り払うことで、よりランクル60っぽいレトロ感漂うスタイルを実現しているのもポイント。まさにランクル60と80の魅力が融合した1台に仕上がっているのだ。従来のチューニングやドレスアップとは違う個性を求めるユーザーにぴったりの、懐かしいのに新しいというユニークなカスタムとなっている。

フレックス・ドリームでは「FDクラシック」を今回紹介したランクル80だけでなく、60から100系、95系プラドと幅広い車種で展開している。コンプリートカーやパーツの販売はもちろん、チューニングにドレスアップ、メンテナンスと、ランドクルーザーのすべてが任せられる。ランクルを熟知している「こんな風になりたい」「ここを変えたい」などといったランクルイジリに悩んでいたならフレックス・ドリームに一度相談してみよう。